福井県社保協ＦＡＸ通信

２０２３年度　第２号　１１月２４日

発行責任者
福井県社会保障推進協議会
事務局長　平澤　公

http://fkshk.web.fc2.com/

来年秋の健康保険証廃止の撤回を！
県内各地方議会に請願・陳情を提出

今年６月に岸田政権はマイナンバーカードの普及をすすめるために、来年秋の健康保険証廃止法の成立を国会で強行しました。ところが、その後各医療団体や共同通信を始めとする各マスコミの調査で、「マイナ保険証の本人確認できない」、「マイナ保険証に他人の保険情報が誤ってひも付けられていた」、「口座情報も誤っている」、「医療機関の受付システムでエラーが発生する」などのトラブルが相次いで報道され、６月末には厚生労働省が、受診の際にはマイナ保険証と同時に従来の保険証も持参することを国民に呼びかける事態になっています。

福井県社保協と嶺南社保協は、９月と１２月に開催される県内各地方議会の定例会に、「健康保険証廃止の中止を求める請願（陳情）」を提出しました。残念ながら９月定例会に提出済の請願（陳情）はすべて不採択となりましたが、福井県、あわら市、鯖江市、越前町、南越前町、永平寺町の６自治体は９月定例会で審議される予定です。請願（陳情）採択をめざして地域での運動を強めましょう。

「現行の健康保険証を残してください」署名を広げよう

来年秋の健康保険証廃止を中止させるために、中央社保協と福井県社保協は署名の集約に取り組んでいます。１０月はじめに各団体にお届けした、「現行の健康保険証を残してください」署名と「介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善」署名を思い切って広げましょう。

＜街頭署名・宣伝のご案内＞

福井県社保協は「原稿の健康保険証を残してください」署名を推進することをめざして、下記の予定で街頭での署名・宣伝にとりくみます。各団体で討議をして積極的に参加しましょう。

日時：①２０２３年１２月　６日（水）　正午～１３時００分
　　②２０２４年　１月２５日（木）　　〃
会場：JR 福井駅西口　ハピリン前（①②共通）
※各団体の参加者を事前に事務局までお知らせください。

２０２４年度以降の実施にむけて岸田政権が準備をすすめている負担増

　岸田政権は来年１月に開催される通常国会で、介護保険を中心にこれまでにない規模での社会保障の負担増・給付削減を狙っています。背景にあるのはアメリカと約束をした軍事費「GNP２％」（２倍化）、「５年で４３兆円の防衛予算」の具体化です。軍事費の拡大は国民を困窮に追いやります。社会保障の充実を求める運動をすすめ、岸田政権の暴走にストップをかけましょう。

＜医療＞

①　入院給食費引き上げ	１食３０円
②　特許切れ先発薬の負担増	後発薬との差額の一部を利用者負担に
③　国保税（料）の年間上限を引き上げ	２万円引き上げ
④　少子化対策の財源を医療保険料に上乗せ徴収	

＜介護＞

①　利用料２割負担の対象拡大	現行の年収２８０万円以上を２２０～２６０万円以上に
②　年収４１０万円上の６５歳以上高齢者の介護保険料引き上げ	
③　多床室の有料化	特養や老健の多床室（４人部屋など）を有料化
④　ケアプラン有料化	
⑤　保険料納付年齢	現行４０歳以上を２０歳以上に拡大
⑥　要介護１～２の介護保険外し	介護保険の給付対象を要介護３以上に。

＜年金＞

①　国民年金保険料の納付期間を５年間延長

　　現行の２０～６０歳までを６５歳までに延長。５年延長で約１００万円の負担増。